

生活支援コーディネーターだより Vol.1

たどつ支え合い笑顔の会 (第1層協議体)と 「移動サービス チョイ来た」

皆さんこんにちは。多度津町社会福祉協議会
地域福祉課の尾崎と申します。昨年の10月
より、第1層生活支援コーディネーターとして
協議体の皆様と活動しています。これから
いろいろと情報をお届けしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。今回は、
協議体についてです。

協議体って何？

地域課題を考え、地域資源を創り出す
住民同士の定期的な話し合いの場。責任者
は決めず、地域の井戸端会議的な自由な
発言のできる場です。

多度津町には町全体についてを話し合う
第1層協議体と、地区ごとの場である、**第2
層協議体**があります。この「協議体」と地域の
調整役である「生活支援コーディネーター」
が、住民主体のサービスが活性化される
よう、地域の方々とともに進めていきます。



第2層
たどつ
助け合いの会

第2層
豊原ささえ愛
ネットワーク

第1層協議体(町全体) たどつ支え合い笑顔の会

構
成
員

- ・第2層生活支援コーディネーター
(または2層の代表者)
- ・第1層生活支援コーディネーター
- ・社会福祉協議会
(地域包括支援センター含む)
- ・その時に地域課題の話し合いに
必要な団体、人物

第2層
四箇
ささえあいの会

第2層
チーム
白方

コロナ禍の中、令和2年度は各地区の協議体を開催することが難しかったのですが、地域課題の解決は“待ったなし”です。そのため、上の図のように第1層協議体として集まり、各地区で共通してあがった「**移動の問題**」について話し合いをしました。一人暮らしや高齢者世帯で、免許証返納後に買い物や通院などの移動に困る方が増えていますし、高齢になると停留所までの移動が必要なバスよりも「ドア・ツー・ドア」の希望が高くなります。

最初は、この「地域課題」の大きさに、自分たちに何ができるのかと不安だらけでしたが、すでに住民が自ら移動サービスを立ち上げて活動している「丸亀市岡田地区」へ見学に行ったことにより、自分たちにもできるかもしれないというイメージを持つことができました。また高齢者保険課からも、「住民主体のサービスを支援するために」と車のリース代等を出して貰えることとなり、**住民ボランティアで運営する「移動サービス チョイ来た」**を立ち上げようと前向きに話をすすめています。



ボランティア活動は、無理をすると続かないものです。できることから始めて、仲間(担い手)を増やし、内容の充実を図っていただきたいと思います。

「移動サービス チョイ来た」の詳しい内容については、配布チラシをご覧ください。電話での予約受付が主な内容の**受付ボランティアも募集**しております。

ボランティアに興味のある方は32-8501までご連絡ください。

